



平成23年2月1日発行

わかやまこどもクリニック

第67号

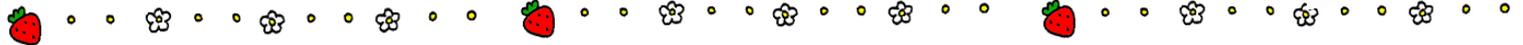
http://www.wakayama-kodomo.com/(パソコンサイト)

http://www.wakayama-kodomo.com/i/(携帯サイト)

今年2月1日をもちまして、当クリニックは12周年を迎えることができました。これからも皆様に安心していただける医療を提供できるようスタッフ一同、日々精進し、貢献していきたくておりますので、宜しくお願いいたします。

まだまだ寒い日が続く、インフルエンザが流行してきています。病気を「もらわない」「うつさない」ために、うがい・手洗いとともにマスクの着用をしましょう。部屋の加湿や換気も感染予防に効果的です。春はもうすぐです。栄養のある食事、良眠、適度な運動を行い、寒い冬を乗り切りましょう。

MR(麻疹・風疹混合)ワクチンなど、年度末の3月で無料期間が終了する接種もあります。対象者は受け忘れのないようご注意ください。



無料接種できるようになりました！！

～2/14(月)以降公費接種になります～

ヒブ

…2ヶ月～5歳未満【有料の場合¥8,000/1回】

ヒブの感染による「細菌性髄膜炎」「肺炎」を予防するワクチンです。ヒブの感染による病気は、早期診断が難しく、罹ると死亡することもあり、難聴や知能・運動・発達遅滞などの怖い後遺症を残す場合もあります。

肺炎球菌

…2ヶ月～5歳未満【有料の場合¥10,500/1回】

肺炎球菌による「細菌性髄膜炎」「肺炎」を予防するワクチンです。ヒブ感染症よりも死亡率が高く、同様の後遺症を残す怖い感染症です。また「中耳炎」を引き起こす原因菌でもあります。

子宮頸癌

…中学1年生～高校1年生の女子

【有料の場合¥16,800/1回】

子宮頸癌は唯一、ワクチンで予防できる「癌」です。子宮頸癌は、性行為による感染が原因です。感染する前にワクチンを接種しておく事が、最も効果的です。

接種希望者が多い場合、ワクチンが不足する事があります。
対象の方はお早めにご予約・接種をお済ませ下さい



ポリオ予防接種予約受付中！！

接種期間 4月1日(金)～5月15日(日)

4月はポリオ接種月間となっております。ポリオ接種は経口生ワクチンで、飲むことによって免疫をつけることができます。とても簡単な予防接種です。ワクチンは腸から吸収されますので、少々咳・鼻水の症状があっても接種はできますが、下痢をしている時は実施することができません。体調を整えて実施しましょう。

ワクチンの関係上、ご予約をお願いいたします。ご希望の日時がございましたら、お早めに！

また、お父様・お母様で昭和50年～52年生まれの方がいらっしゃいましたら、小さい頃に接種されているポリオワクチンの効果がはっきりしないため再度接種をするように国から通達がきています。お子様が実施される場合は、ご両親も一緒に接種することをお勧めいたします。(大人は1回のみ3,000円です。)詳細は受付にお尋ねください。



MR接種無料期間が終了します！

麻疹・風疹の混合ワクチン(MRワクチン)の下記の対象年齢の方の無料接種期間が3月31日をもって終了します。まだ接種していない方は早急に接種しましょう。

※今年4月以降は、有料接種になるのでご注意ください！！

MRワクチンとは・・・少し前までは、麻疹・風疹の単独で1回ずつ行っていた接種です。しかし、1回の接種では将来抗体が減少し、感染の可能性がある為、2回接種するように制度が変わりました。

無料対象者

- MR2期 小学校就学前 (H16,4/2～H17,4/1生)
- MR3期 中学校1年生 (H9,4/2～H10,4/1生)
- MR4期 高校3年生 (H4,4/2～H5,4/1生)



インフルエンザ流行中！

身の回りでもインフルエンザの方が段々と増えてきたのではないのでしょうか・・・心配や疑問を少しでも解消して頂ければと思います。ここではインフルエンザに関してのよくある質問にお答えいたします。

□高熱が出たのですが、インフルエンザ検査はできますか？

インフルエンザに感染していたとしても、十分な時間が経たないうちに検査を行うと、陽性反応が出ないことがあります。一般的にインフルエンザ検査は発熱後6～12時間経過してから行います。

□いつから登校、登園できますか？・・・

①内服開始後最低5日経ってから②解熱後2日経ってから上記2つの条件がインフルエンザ治癒の目安となります。

まずは罹らないために、うがい手洗いの徹底をしましょう！



花粉症発症の前に！！！！

花粉症の季節になりました。毎年、花粉のため、つらい思いをされている方も多いと思います。花粉症の最もよい対処法は、発症する前から抗アレルギー剤の内服を開始しシーズン中も続ける事です。(2月～5月頃)

最近の抗アレルギー剤は、眠気が少なく使い易くなっています。過去に症状のあった方は、早めに内服し、花粉症に備えましょう。大人の方へも当院でお薬を処方できますので、ご希望の方はお気軽に受付までお申し出下さい。



